

日本発達障害支援システム学会 2019年度 研究大会・研究セミナー

= 発表論文集 =

= 大会テーマ =

発達障害者の生涯発達と 支援領域を考える

●令和元年 12月8日(日) 12:40~17:00

●東京学芸大学 小金井キャンパス

東京都小金井市貫井北町 4-1-1

主催:日本発達障害支援システム学会

2019年研究セミナー・研究大会実行委員会

ご挨拶

メインテーマ

「発達障害者の生涯発達と支援領域を考える」

日本発達障害支援システム学会第18回(2019年度)研究大会・研究セミナーを、2019年12月8日(日)に、東京学芸大学にて開催する運びとなりました。本年度は「発達障害者の生涯発達と支援領域を考える」というテーマを掲げています。

本大会は例年と装いが異なります。日本発達障害支援システム学会発足当時から理事長を務められてきた菅野敦先生が、今年度末をもって東京学芸大学を定年退職される運びとなり、大学の最終講義を兼ねて菅野先生に記念講演をお願いすることとしました。菅野先生は、東京学芸大学附属特殊教育研究施設(当時)に着任されてから一貫して知的障害児者の生涯発達について研究や支援の実践を続けられています。大学においては、東京学芸大学副学長や附属世田谷中学校長をご歴任され、現在、特別支援教育・教育臨床サポートセンター教授として学生指導や特別支援教育の質の向上を目指す活動にあたられています。上述の本年度の学会テーマは、ダウン症をはじめとする知的障害者の生涯発達やアセスメントについて長年にわたり研究を積んでこられた菅野先生の研究テーマに重なるものであり、菅野先生には、『知的障害児・者の生涯発達と支援領域』と題してご講演いただきます。これまでのご研究の成果について参加者が学ぶとともに、今後の研究や支援の進むべき方向性についても示唆をいただけることでしょう。

また、記念講演で本大会を締めくくることにより、本大会では、口頭・ポスター発表の時間枠をはじめに置いている点も例年とは異なります。各発表者からの知見や意見交換を踏まえて、最後に包括的な観点からの記念講演を聴き、本学会の名称ともなっている、発達障害のある方々への支援システムについて改めて一人ひとりが考えを深める好機となるものと思います。大勢の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

2019年12月

日本発達障害支援システム学会

第18回研究セミナー／研究大会準備委員会

実行委員長 大伴 潔

会場へのご案内

東京学芸大学 小金井キャンパス
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

■交通案内

(1) JR 武蔵小金井駅・北口より (徒歩の場合は約 20 分)

【京王バス】

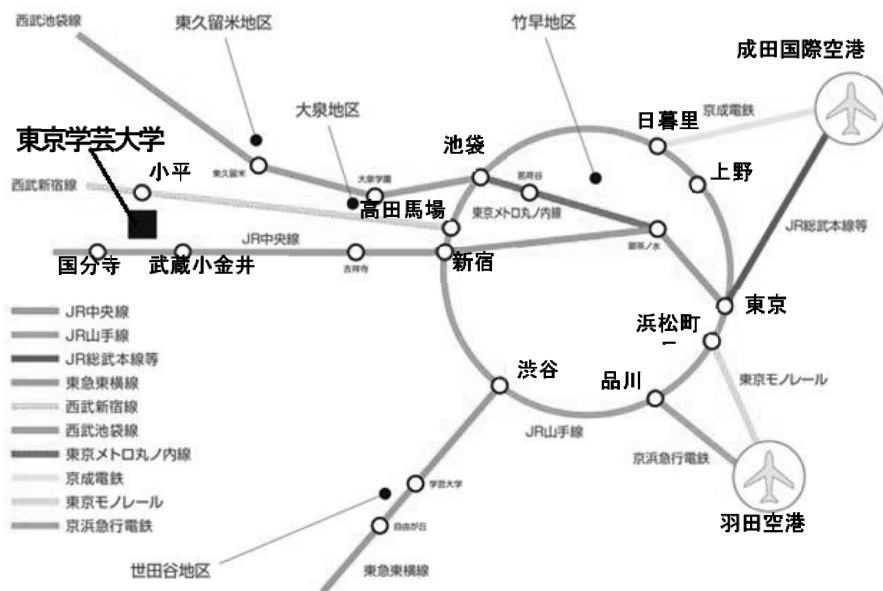
〔5 番バス停〕「小平団地」行に乗車，約 10 分。「学芸大正門」下車，徒歩約 3 分

(2) JR 国分寺駅北口より

【徒歩】約 20 分

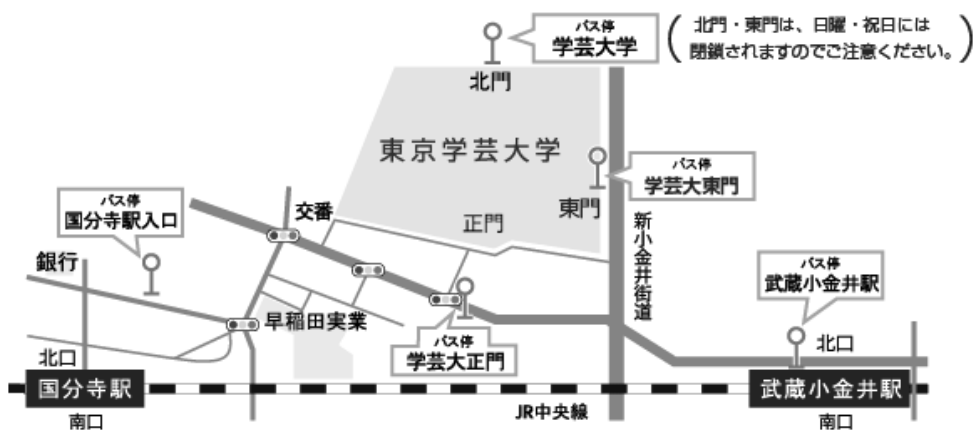
(JR 国分寺駅北口 → 早稲田実業学校 → 連雀通り／小金井市保健センター前)

■最寄駅へのアクセス

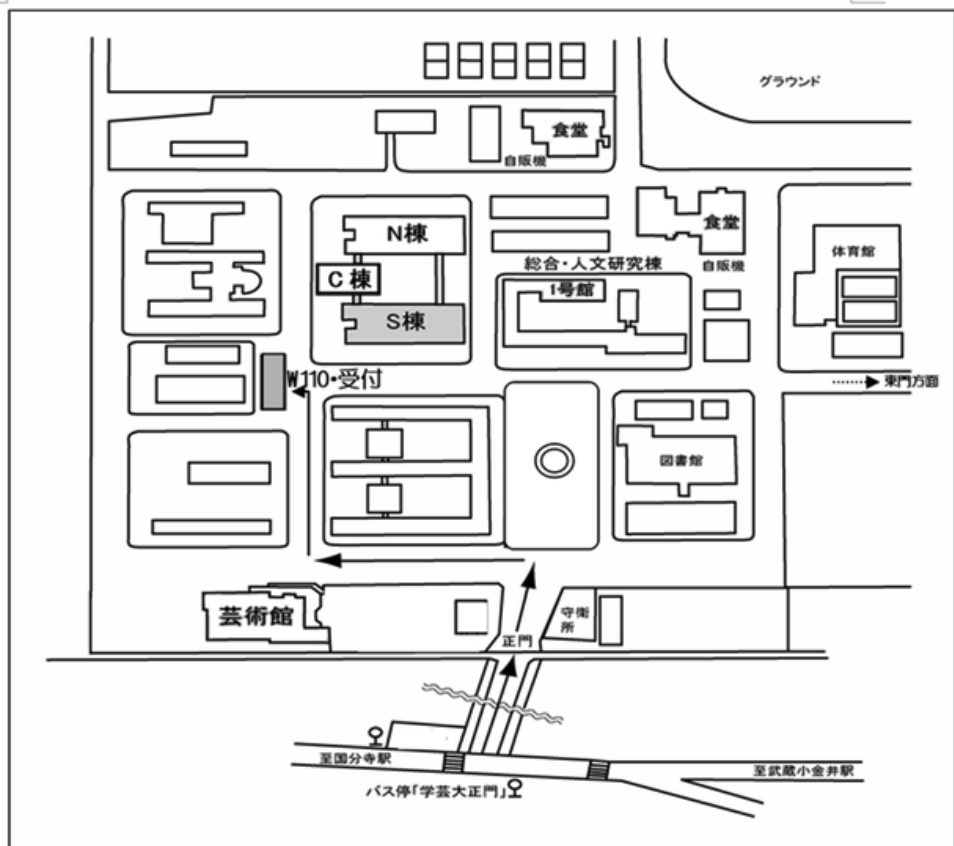


※東急東横線「学芸大学」駅ではございませんのでご注意ください。

■最寄駅からのアクセス



構内案内【東京学芸大学 小金井キャンパス】

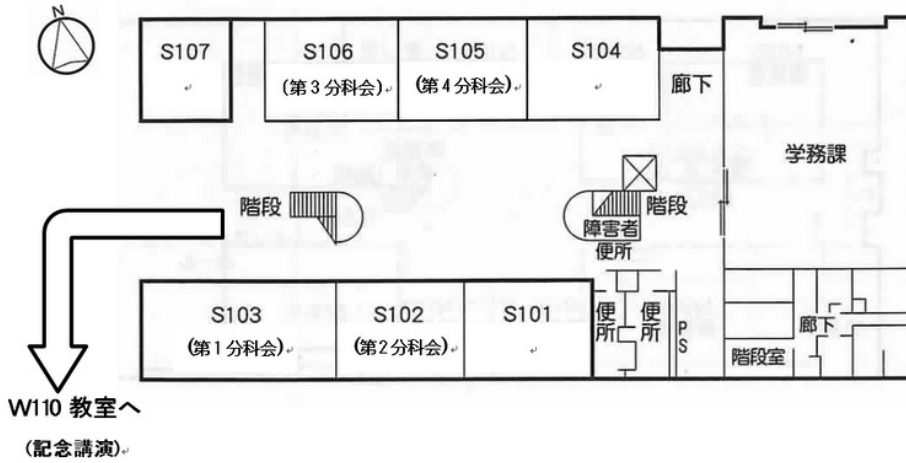


会場案内

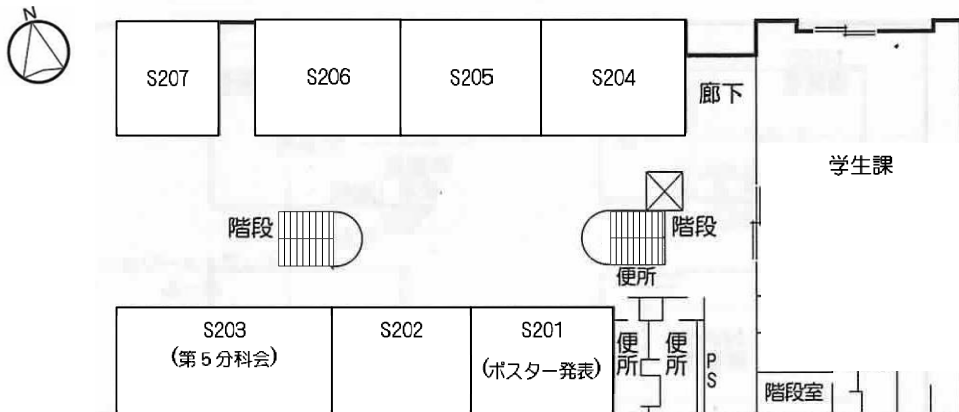
- ・受付(W棟1階前)【12:10～16:00】
- ・第1分科会 (S棟 S103 教室)【12:40～14:40】
- ・第2分科会 (S棟 S102 教室)【12:40～14:40】
- ・第3分科会 (S棟 S106 教室)【12:40～14:40】
- ・第4分科会 (S棟 S105 教室)【12:40～14:40】
- ・第5分科会 (S棟 S203 教室)【12:40～14:40】
- ・ポスター発表(S棟 S201 教室)掲示時間 【12:40～14:40】
発表者の在席時間 【13:40～14:40】
- ・記念講演(W棟1階110教室)【15:10～17:00】

会場配置図

【棟 1 階案内図】



【S 棟 2 階案内図】



参加者へのご案内

I 受付

1. 大会期間中は受付でお渡しする参加章（氏名・所属を記入したもの）をお付けください。
参加章は大会参加費の受領証を兼ねています。
2. 受付場所は教育講演会場（＜W棟＞1階）前、12:10より開始します。
3. 参加費等は以下の通りです。

参加費：事前(11/22まで)申込の場合 3,000円、当日参加の場合 3,500円

(いずれの参加費にも論文集代が含まれます。論文集は当日受付でお渡しします。)

発表費：1演題あたり 1,000円

※事前申込は11/30までに指定先にお振込下さい。

※当日参加の方は受付でお支払いください。

	事前申込受付 (11/22まで)	当日参加
参加費	3,000円	3,500円
発表費	1,000円	—

II 会場関係

1. 喫煙

東京学芸大学の構内では分煙措置を実施しております。

喫煙は建物外の喫煙指定場所をお願いします。

2. 駐車場

駐車スペースは限られておりますので、お車でのお越しはご遠慮ください。

III 懇親会

本大会では懇親会は予定しておりませんのでご了承下さい。

IV 連絡先

会期前、会期中ともに、大会準備委員会（実施本部）への連絡は下記まで、電子メールまたはFAX(会期中を除く)をお願いします。実施本部では、常にメールチェックをおこないません。

日本発達障害支援システム学会 2019年度大会準備委員会

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学特別支援教育・教育臨床サポートセンター内

FAX 042-329-7678

電子メール jasssdd@u-gakugei.ac.jp

研究発表者へのご案内

【口頭発表】

1. 発表時間

- 1) 発表時間は1発表につき15分で、質疑応答の時間3分が含まれます。
- 2) ご自身の発表時間以外は、他の分科会場やポスター会場にいらっしゃっても構いません。但し、学会場から出てしまうことはご遠慮下さい。終了時刻の14:40まではご参加頂くことが義務づけられます。
- 3) 進行係が以下のように時間経過をお知らせします。

発表開始後 10分：1 鈴

12分：2 鈴(発表終了)

15分：3 鈴(質疑応答終了・交替)

2. 発表用機器

発表にパソコンを使用する方は、発表データを USB 接続フラッシュメモリに保存し、セッション開始前までに会場にお越し下さい。パソコンは、Windows 7 (パワーポイント 2010) を用意いたします。なお、Macintosh 版データや動画などが含まれるデータは、映像に支障をきたす場合がありますので、パソコンをご持参下さい。

(プロジェクタとの接続には、標準的なミニ D-SUB15 端子 (アナログ) を使用します)。

3. 座長の方へ

- 1) 座長の方は担当セッションの司会・進行をお願い致します。特に制限時間を厳守するようにお願い致します。
- 2) 各セッションに1～2名の座長をお願いしています。欠席の場合には新たに座長を決定しますので、前日までに E-mail にて大会準備委員会に必ずご連絡ください。

4. 質疑・討論について

質疑や意見を述べる際には、はじめに所属・氏名を明らかにしてください。

また、30 秒以内に簡潔にお願いします。その他、座長の指示に従って、セッションの進行に支障がないようにしてください。

5. その他

- 1) 座長及び発表者は、セッション開始5分前までに当該分科会場に在席してください。
- 2) 研究発表の資料は発表論文集をあてるのが原則ですが、補足資料の配布が必要な場合には、事前に発表者が必要部数を用意し、各会場の資料配布台に置いてください。

【ポスター発表】

1. 発表者は、発表時間中ポスターを掲示すると同時に指定された時間出席し、参加者と質疑応答することにより、正式発表とみなされます。
2. 発表者は、総合受付にて発表受付を済ませ、発表開始5分前までにポスターの掲示を完了してください。
3. 掲示時間は12:40~14:40、
在席責任時間は13:40~14:40です。
ポスターは壁またはパーテーションに掲示してください。
4. ポスター掲示範囲は横幅80cm×縦150cm以内が適当です。ポスターの最上部には、発表題目(フォントサイズ目安:72ポイント)、発表者氏名(筆頭発表者に○を付ける)、及び所属を明示してください。本文は全紙、または何枚かに分けて貼る等の方法で掲示してください。文字の大きさや図、表の作成には特に注意してください。混み入った図や表の使用を避け、2m離れたところから全体を読めるようにしてください。
5. 掲示用のセロハンテープ・押しピン等は会場内に用意してあります。
6. 当日資料を配布される方は、各自で必要部数を用意し、配布してください。個人情報との関係で、資料回収を必要とする場合は、発表者が責任をもって回収、処分してください。
7. 発表時間が終了したら、直ちにポスターを撤去してください。

大会スケジュール

12月8日(日)

会場	W棟1階	S棟 教室					
	W110	S103	S102	S106	S105	S203	S201
12:10	受付開始 (W棟1階前)						
12:40		第1分科会 <育てる> 早期発達 支援領域	第2分科会 <つくる> 支援システム 領域	第3分科会 <関わる> コミュニケーション 支援領域	第4分科会 <学ぶ> 学習 支援領域	第5分科会 <暮らす・働く> 生活・就労 領域	ポスター発表 分科会 掲示時間 12:40~14:40 発表者在席時間 13:40~14:40
14:40							
15:10	記念講演 講師 菅野 敦 東京学芸大学 特別支援教育・ 教育臨床 サポートセンター 教授						
17:00							

プログラム案内

＝第 1 部＝

第 1 分科会 <育てる>＝早期発達支援領域＝(S 棟 S103 教室)

座長：京林由季子(岡山県立大学)・堂山亞紀(目白大学)

- 1-1 『保育者養成校における言葉指導法』
早川礎子(小田原短期大学)
- 1-2 『3 歳児の‘育てにくさ’の要因と発達障害について』
瀧上真裕美, 和知真由(東京学芸大学大学院)・
林安紀子, 橋本創一(東京学芸大学)・秋山千枝子(あきやまこどもクリニック)
- 1-3 『感覚過敏のある発達障害幼児の子育てに関する調査報告』
町田唯香, 瀧上真裕美, 橋本創一, 秋山千枝子(あきやまこどもクリニック)
- 1-4 『保育場面における幼児の運動発達の評価に関する予備的研究』
青木みゆき(岡山県立大学大学院)・京林由季子, 中村光(岡山県立大学)

第 2 分科会 <つくる>＝支援システム領域＝(S 棟 S102 教室)

座長：真鍋健(千葉大学)・渡邊貴裕(順天堂大学)

- 2-1 『発達障害児の多様な学びの場の連続性の実際』
井上剛(東京学芸大学大学院)・
田口悦津子, 仲野真史(東京学芸大学附属特別支援学校)・
大伴潔, 林安紀子, 橋本創一(東京学芸大学)
- 2-2 『特別な支援を要する生徒への支援体制に関する調査報告』
竹達健頭, 渡邊真帆, 日下虎太郎(東京学芸大学大学院)
- 2-3 『障害者に対する態度研究の動向と今後の課題』
米田真緒(北海道教育大学大学院)・細谷一博(北海道教育大学)
- 2-4 『ダナン市の障碍児と家族支援に関する調査』
TRAN NGOC TRA MY(千葉大学大学院)・真鍋健(千葉大学)
- 2-5 『法人調査と支援事例の報告』
安藤直子(社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 八幡作業所)

第3分科会 <関わる>=コミュニケーション支援領域= (S棟 S106 教室)

座長：小島道生(筑波大学)・熊谷亮(福岡教育大学)

- 3-1 『視線入力装置を活用した選択活動について』
宮島伸行(東京都立町田の丘学園)
- 3-2 『ダウン症児における自己主張に関する研究』
金野楓子, 佐々木可愛(東京学芸大学大学院)・
菅野敦(東京学芸大学)
- 3-3 『早期老化及び不適切行動が見られるダウン症者への支援』
谷崎隆太, 小林倫, 斗舛もも子(社会福祉法人 湘南の風 もやい)
- 3-4 『特別な支援を要する小学生に対する本人との対話による支援』
熊谷亮(福岡教育大学)・三浦巧也(東京農工大学)・
杉岡千宏, 李受眞(東京学芸大学大学院)
- 3-5 『高等学校における発達障害のある生徒の自己理解の現況とその支援に関する調査報告』
渡邊真帆, 竹達健顕, 日下虎太郎(東京学芸大学大学院)

第4分科会 <学ぶ>=学習支援領域= (S棟 S105 教室)

座長：細川かおり(千葉大学)・三浦巧也(東京農工大学)

- 4-1 『肢体不自由教育と知的障害教育の連携による書字指導』
阿部敦子(東京都立青峰学園)・諏訪肇, 吉田崇(東京都立志村学園)・
河野文子(筑波大学附属桐が丘特別支援学校)
- 4-2 『肢体不自由教育部門における移動検定の実施』
芋川恵美子, 今出博之, 井藤知世, 富田義昭(東京都立町田の丘学園)
- 4-3 『知的障害生徒における発達年齢と情報モラル習得との関係』
爲川雄二(東北大学)
- 4-4 『児童発達支援における五感脳トレーニングの効果』
武田規公美(一般社団法人 五感脳トレーニング協会)・西野仁雄(名古屋市立大学)

第5分科会 <暮らす・働く>=生活・就労支援領域=(S棟S203教室)

座長：菅野和恵(東海大学)・霜田浩信(群馬大学)

- 5-1 『将来を見据えた支援とは』
鈴木美代(三鷹市子ども発達支援センター くるみ幼稚園)・菅野敦(東京学芸大学)
- 5-2 『ダウン症児・者に対するライフステージ各期の養育について』
佐々木可愛, 金野楓子(東京学芸大学大学院)・伊藤浩(社会福祉法人 幸会)・
菅野敦(東京学芸大学)
- 5-3 『自閉症児の認知・適応スキルの経年変化と類型化に関する研究』
山口遼, 井上剛, 李受眞, 町田唯香(東京学芸大学大学院)
- 5-4 『学部間の指導をつなぐ作業学習』
数野誠一, 井上美保, 添田和久, 田島昭美(東京都立八王子特別支援学校)・
菅野敦(東京学芸大学)
- 5-5 『障がい児・者の働く態度に関する研究(2)』
小笠原拓, 岡本孝伸(株式会社ドコモ・プラスハーティ)・
伊藤浩(社会福祉法人 幸会)・菅野敦(東京学芸大学)

ポスター発表分科会 (S棟 S201 教室)

座長：尾高邦生(順天堂大学)

- P-1 『幼児期における食事調査法が食事内容に及ぼす影響』
小松未佳(三鷹市子ども発達支援センター くるみ幼稚園)・菅野敦(東京学芸大学)
- P-2 『発達初期の児童に対する視知覚を育てる実践報告』
渡辺遥(東京都立南花畑特別支援学校)・綿引清勝(小田原短期大学)・
植竹安彦(東京都立城北特別支援学校)・齋藤健夫(東京都立八王子盲学校)・
今和泉那美(東京都立清瀬特別支援学校)
- P-3 『環境把握に課題を有する生徒支援の一考察』
齋藤健夫(東京都立八王子盲学校)・綿引清勝(小田原短期大学)・
植竹安彦(東京都立城北特別支援学校)・今和泉那美(東京都立清瀬特別支援学校)・
渡辺遥(東京都立南花畑特別支援学校)
- P-4 『集団参加が難しい自閉スペクトラム症児に対する実践研究』
綿引清勝(小田原短期大学)
- P-5 『重度知的障害児に対する、言語の獲得に向けた実践報告』
今和泉那美(東京都立清瀬特別支援学校)・綿引清勝(小田原短期大学)・
植竹安彦(東京都立城北特別支援学校)・齋藤健夫(東京都立八王子盲学校)・
渡辺遥(東京都立南花畑特別支援学校)
- P-6 『知的障害特別支援学校高等部における相談機能の充実』
辻村洋平(都立青峰学園)・南幸恵(M's ライフデザイン)・
小笠原まち子(株式会社 パソナハートフル)・
原智彦(あきる野市障がい者就労・生活支援センター あすく)
- P-7 『特別支援学校における知的障害児の個別教育計画にみられる指導目標の特徴に関する検討』
柘植康宏(東京学芸大学教育学部)・町田唯香, 山口遼, 井上剛(東京学芸大学大学院)
- P-8 『知的障害特別支援学校の教育実習生の学びと変化について』
古屋太地(東京学芸大学教育学部)・渡邊貴裕, 尾高邦生(順天堂大学)・
霜田浩信(群馬大学)・細川かおり(千葉大学)・
井上剛, 李受眞, 山口遼(東京学芸大学大学院)・橋本創一(東京学芸大学)
- P-9 『急激退行が疑われる成人期ダウン症に対する支援プログラムの有効性に関する検討』
坂口麻衣子(社会福祉法人 龍鳳)・伊藤浩(社会福祉法人 幸会)
- P-10 『障害福祉サービスにおける事業所の目的と工賃の関連について』
松本咲子(社会福祉法人 幸会)・今枝史雄(大阪教育大学)・菅野敦(東京学芸大学)

＝第2部＝（会場：W棟1階110教室）

記念講演

15:10～17:00

『知的障害児・者の生涯発達と支援領域』

【講師】

菅野 敦

（東京学芸大学 特別支援教育・教育臨床サポートセンター 教授）

【講師プロフィール】

<専門分野>

知的発達障害心理学

<自己紹介>

北海道出身。大学卒業後、知的障害養護学校（現：特別支援学校）に教員として勤務。その後、知的障害児・者の学習や発達に関することを学び、研究するために、大学院（筑波大学大学院修士課程 教育研究科、終了後、筑波大学大学院 博士課程心身障害学研究科）に入学。博士課程修了後、東京学芸大学に勤務。当時、日本で唯一の障害児教育に関する研究所である特殊研究施設（現：特別支援教育・教育臨床サポートセンター）に所属。一貫して、知的障害、なかでもダウン症候群を対象に、乳幼児期から成人期までの発達特性及び、各ライフステージにおける発達課題の解明を行う。さらに、そこから得られた知見をもとに、「生涯発達支援」の視点から特別支援教育や障害者支援の具体的な指導・支援内容を明らかにし、指導・支援のための方法や教育課程・支援計画に関する研究を目指す。

<現在の研究課題>

知的発達障害の生涯発達とその支援

<学会における活動>

- ・日本発達障害支援システム学会会長
- ・日本発達障害学会理事長
- ・日本特殊教育学会評議委員、常任編集委員

【主な著書】※著、編著、共著

- 2015年 「ダウン症者とその家族でつくる豊かな生活—成人期ダウン症者理解とサポート実践プログラム」 福村出版
 - 2012年 「ダウン症ハンドブック」 日本文化科学社
 - 2012年 「障害児者の理解と教育・支援—特別支援教育／障害者支援のガイド (改訂新版)」 金子書房
 - 2010年 「知的障害者の生涯学習支援～いっしょに学び、ともに生きる～」 社会福祉法人東京都社会福祉協議会
 - 2010年 「新 ダウン症児のことばを育てる—生活と遊びのなかで」 福村出版
 - 2009年 「やってみよう！自立支援ワークブック」 角川学芸出版
 - 2008年 「発達障害基本用語事典」 金子書房
 - 2008年 「言語・コミュニケーション発達の理解と支援プログラム」 学苑社
 - 2007年 「スクールカウンセリングマニュアル—特別支援教育時代に」 日本小児医事出版社
 - 2007年 「インクルージョン時代の障害理解と生涯発達支援」 日本文化科学社
 - 2007年 「テキスト特別ニーズ教育」 ミネルヴァ書房
 - 2006年 「特別支援教育における教育実践の方法」 ナカニシヤ出版
 - 2006年 「特別支援教育の基礎知識—障害児のアセスメントと支援、コーディネートのために」 明治図書
- etc.

※日本発達障害支援システム学会理事長である菅野敦先生は、東京学芸大学副学長・附属世田谷中学校長をご歴任されて、現在、特別支援教育・教育臨床サポートセンター教授でいらっしゃいます。本年度末をもってご勤務されている大学を定年退職されることになり、本大会の記念講演が最終講義となりました。

学会の記念講演ではありますが、一部、菅野先生がご指導された方、共同研究者などの関係者が参加します。会員の皆様には、通常の大大会講演とは装いが違うことからご迷惑をおかけすることをお詫び申し上げます。

司会：大伴 潔（東京学芸大学特別支援教育・教育臨床サポートセンター 教授）

2019年度 研究セミナー・研究大会

大会実行委員会

実行委員長 大伴 潔 (東京学芸大学)

事務局長 橋本 創一 (東京学芸大学)

実行委員 池田 一成 (東京学芸大学)

(五十音順) 伊藤 浩 (社会福祉法人 幸会)

尾高 邦生 (順天堂大学)

小林 巖 (東京学芸大学)

霜田 浩信 (群馬大学)

爲川 雄二 (東北大学)

堂山 亜希 (目白大学)

林 安紀子 (東京学芸大学)

細川 かおり (千葉大学)

三浦 巧也 (東京農工大学)

渡邊 貴裕 (順天堂大学)

大会事務局 杉岡 千宏 (東京学芸大学)

李 受眞 (東京学芸大学)

西村 裕子 (日本発達障害支援システム学会事務局)

<大会会場>

東京学芸大学 小金井キャンパス

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

<大会事務局>

日本発達障害支援システム学会

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

(東京学芸大学特別支援教育・教育臨床サポートセンター内)

E-mail : office@jasssdd.org

Homepage : <http://www.jasssdd.org>